

にじいろプロジェクト 4

令和 6 年 1 1 月号
日出みみょう保育園

～いろいろな素材に触れて～

やっとこの時期らしい気候になってきました。秋の到来を待ちかねて、心地よい秋の風を感じながら公園にお散歩に行き、落ち葉や砂、生け垣の葉っぱなど、様々なものに触れて遊んでいます。10月初旬はまだ半そでで過ごしていましたが、後半にはもうすっかり長袖を着て遊んでいて、子どもたちと一緒に移りゆく季節を感じています。



何して遊ぼうかな？



これは何かな？

落ち葉を拾って、むしったり、ちぎったりしながら感触を楽しんでいます。



お砂にジロジロ

座った時の自分の影に気付いたようです。影のシルエットに合わせて線を描いています。

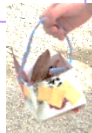


しろ組さんに手をつないでもらって公園までお散歩しました。



葉っぱを見つけて

落ち葉を拾って小さな籠の中へ。集めたものは自分だけの宝物。



汽車ポッポ

一緒にやる？と、誘ってもらって、うれしいね。



見つけたものを見せこして

いっぱい入った？と、お友だちと集めたものを見せ合っています。



お友だちや先生と一緒に

影で遊んだり、一緒に木の根っこや生け垣を探索したり…。しろ組さんや先生、大好きな人と一緒だと、楽しさもわくわくも広がっています。



公園で見つけた小さい秋は、これは何だろうと不思議に思ったり、自分で見つけたり感じたものをもっと確かめてみたいなあ、という気持ちにさせてくれます。乳幼児期は、きれいだなあ、気持ちいいなあなど、感受性にあふれている頃です。深まる秋の自然のなか、一人ひとりの感じていることや見つけたものと一緒に喜び合いながら、感性豊かに育ってほしいと思っています。 乳児園主任